

大人の肺炎

予防していますか？

Q. なぜ、65歳を過ぎたら肺炎予防なの？



肺炎で亡くなった方のうち
65歳以上が占める割合

A. 肺炎は加齢によって罹患しやすくなり、重症化のリスクも高まるため、65歳を過ぎたら肺炎予防が必要です。実際に、肺炎による死亡者のうちの97.8%が65歳以上であったことがわかっています。

厚生労働省、人口動態調査(確定数)2023年より作図

Q. 基礎疾患があると肺炎になりやすいの？



慢性肺疾患



慢性肝疾患



慢性腎疾患



糖尿病



慢性心疾患



がん

A. 健康な方と比べて、肺炎にかかるリスクはがんで1.7倍、糖尿病は1.9倍、慢性肝疾患で2.1倍、慢性心疾患・慢性腎疾患で2.6倍、慢性肺疾患で5.2倍でした。

Imai K, et al. *BMJ Open*. 2018 ; 8(3) : e018553.

【利益相反】本研究はMSDからの資金提供により実施され、著者には同社の社員が含まれている。

手洗い・うがいなど

肺炎予防には毎日の感染対策に加えてワクチンがあります^{*1,*2}

*1:肺炎球菌感染症のワクチンは、すべての肺炎を防ぐものではありません。

*2:肺炎球菌以外の細菌による感染症は、肺炎球菌ワクチンでは予防することはできません。

肺炎球菌ワクチンの接種については、医師にご相談ください。